



# 下田市議会だより

6月  
令和7年  
(2025)  
No.94

- P1~2 議会活動レポート／1月臨時会・3月定例会ポイント  
P3~5 総務文教委員会審査報告・産業厚生委員会審査報告  
P6 請願審査  
P7~10 市政を問う一般質問／賛否の分かれた議案  
P11 議案等の審議の結果、表紙の情報、編集後記

## 産業厚生委員会行政視察

【視察先】 茨城県東茨城郡大洗町・東京都荒川区  
 【期間】 令和7年1月21日（火）～22日（水）  
 【視察内容】



報告書はこちらから

### 1. 大洗町『大洗みなとオアシス』の取組について

平成31年に「大洗みなとオアシス」（右）を登録しています。春は潮干狩り、夏は海水浴で賑わう大洗サンビーチ、大洗マリントワー、大洗港フェリーターミナル、かねふくめんたいパーク大洗等、賑わいの中心地として機能しています。



【マリントワーから望むみなとオアシス】

### 2. 大洗町「観光協会が取り組む『たびなかOTA』について」

大洗町を訪れるお客様は年間427万人にのぼり、案内情報をオンラインで提供することで、お客様の滞在時間を長くする取り組みです。

※OTA：「Online Travel Agent」の略語で、本来は、ネット上の旅行会社のことですが、大洗町では、ネットを使った情報発信のことを指します。

### 3. 大洗町「猛暑の夏の海水浴対策について」

海水浴客の減少は、大洗町でも深刻であり、現在は大洗サンビーチのみとして、経費を大幅に縮減しました。また1億円に上るサンビーチ前の駐車場収益を夏期対策事業に充てています。

### 4. 荒川区「荒川区と下田市の関係強化について」

荒川区下田臨海学園には年間4,000名の児童が訪れています。「災害時における相互応援に関する協定書」が再確認され、また下田側から、日常的に関係を強化する『下田物産展』の荒川区区内での開催を提案しました。

### 5. MACCプロジェクトの取組について

平成18年から30年近く取り組んでいるMACCプロジェクトは、産学公金の連携を通して、荒川区のモノづくりを発展、充実させようという取り組みです。

※MACC：「Monozukuri Arakawa City Cluster」の略語で、中小企業、支援機関、金融機関、大学等による連携を進めることで、産業育成を図るプロジェクトです。



【都電荒川線】

### 6. 都電荒川線バラの花プロジェクトの取組について

都電荒川線（右）沿線の4.1kmに、140種1万3,000株のバラを植栽し、ボランティアや区の職員で管理しています。

### 7. 荒川区民総幸福度（GAH）の導入について

荒川区民総幸福度（GAH）を提唱、区民の幸せをはかるための指標として導入しています。

※GAH：Gross Arakawa Happiness（荒川区民総幸福度）の略語

### まとめ

大洗町、荒川区とも、先進的な取り組みを意欲的に進めており、その先には、住民への深い愛情が感じられました。いかに住民生活を、精神的にも物質的にも豊かにするのか。この、公人としての基本的な姿勢、役割が、参加した各議員に重く問いかけられた先進地視察となりました。



## 総務文教委員会 浜崎小学校5年生の授業への参加

### 総合的な学習「福祉についての提案」

総務文教委員会では、浜崎小学校5年生の総合的な学習の授業に参加しました。

授業の内容は、「福祉についての提案」で、子ども達が車椅子体験等により、体の不自由な方の気持ちを理解し、自分達にできることを考え、学校の環境を見直した結果、「学校のトイレを誰もが使いやすいトイレに改修して欲しい。」との提案をいただきました。小学校のトイレについては、毎年、洋式化の改修工事を実施していますが、バリアフリートイレの設置やスロープによる段差解消等は行われていないのが現状です。

総務文教委員会からは、「予算案ができるまで」、「議会での予算審議の流れ」について子ども達に説明させていただきました。

子ども達の提案が少しでも実現するように、議会としても予算確保に努めてまいります。



【浜崎小学校児童の発表の様子】

### 那須町議会との交流

令和4年に友好都市提携をしてから初の公式来訪でした。河内庁舎で市長と共に迎え、「廃校を利活用した新庁舎について」座学と庁内見学を行いました。廃校の利活用は少子化の進む全国的な課題であり、校舎から庁舎への改修は全国でも珍しく大いに参考になったとの声をいただきました。

意見交換では今後の交流の在り方について議論し、互いの観光パンフレットを配布することから始めましょうということで、早速観光協会同士を紹介する流れとなりました。

翌日は爪木崎の水仙まつり会場へ案内し、売店で地元名産のさんま寿司や、各種干物をその場で焼いたところ大いに感激していただきました。那須町の道の駅等でもぜひ販売したいとの意見をいただき、民間事業者協力の元、実現に向けて動いています。今後の市民交流や経済交流を推進すべく良いきっかけとなった交流でした。



【爪木崎で記念撮影】

## － 1月臨時会総括 －

会期を1月24日から1月27日までの4日間とし、条例4件、補正予算6件、その他1件の11議案が上程されました。即決となった組合規約の変更に係るその他1件の議案以外は、令和6年人事院勧告に

伴う条例改正やそれに関連する補正予算でした。

なお、全ての議案は全会一致で原案どおり可決されました。

## － 3月定例会総括 －

会期を3月5日から3月21日までの17日間とし、条例13件、補正予算6件、新年度予算10件、人事1件、その他2件、請願1件、議員発議（条例・意見書・決議）3件の36議案が上程されました。

うち、常任委員会に付託せず即決となった議案は6件で、任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任と新庁舎整備工事に関する契約内容の変更2件の他、議員発議による「下田市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について」、「公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書の提出について」、「下田市議会議場に国旗及び市旗を掲揚する決議」でした。

議場への国旗及び市旗の掲揚については、「全ての戦後補償が済んでいないなか議場への国旗の掲揚は許しがたい」との反対意見もありましたが、全て

の議案は原案どおり同意・可決・趣旨採択されました。【※他の議案に関する賛成・反対の意見は、P9・10をご参照ください。】

現在、下田市議会では、一般会計等の予算に関する議案を二つの常任委員会に分けて審査を行っています。このような分割付託は、各常任委員会で異なる採決結果が出た場合、議案全体の扱いが複雑になるなど、議案不可分の原則に反するものとされています。

また、一般会計予算に対する修正議案が提出されましたが、議案審議の過程で誤りが確認されたため、提出者自ら修正議案を取下げることとなりました。

これらの反省点については、今後、設置が予定されている「議会改革特別委員会(仮称)」において、他議会の事例等を調査研究し速やかに改善していきます。

**意見書** 3月定例会で採択された意見書は以下の1件です。

### ■公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書

教員不足が全国的な問題となる中、静岡県内においても教員の人材確保は喫緊の課題であり、今後の教育界を支える志ある優れた人材を確保していくためには、教員の働き方改革等を進め、子供たちが教員の仕事に魅力を感じるようにする必要があることから、公立の義務教育諸学校の適正教員数を維持・確保を求めるもの。

※スマートフォンでQRコードを読み取ると意見書の内容をご覧ください。⇒





総務文教委員会所管の主な審査項目を  
紹介します。



### 令和7年1月臨時会の審査項目です。

1月臨時会の主な審査内容は、令和6年人事院勧告に伴う条例改正及び人件費の補正予算であり、総額約9,000万円の増額となったもので、総務文教委員会としては、人件費は義務的経費であることから、議会も当局も財源確保や中長期的な財政見通しを市民に示す必要がある旨の意見を取りまとめました。

### 令和7年3月定例会の主な審査項目です。

## 令和6年度下田市一般会計補正予算（第11号）

#### 新庁舎整備工事債務負担行為の変更

事項	期間	限度額（変更前）	限度額（変更後）
新庁舎整備工事	令和6年度から 令和7年度まで	事業予定額18億円の範囲内で、新庁舎整備工事に係る契約を令和6年度に締結し、令和6年度予算計上額8億5,000万円を超える金額9億5,000万円については令和7年度に支払う。	事業予定額18億円の範囲内で、新庁舎整備工事に係る契約を令和6年度に締結し、令和6年度予算計上額5億4,000万円を超える金額12億6,000万円については令和7年度に支払う。

新庁舎整備工事の債務負担行為の2か年の配分については、当初予算編成時には、令和6年度47%、令和7年度53%と見込んでいましたが、進捗状況等を精査した結果、令和6年度30%、令和7年度70%に変更が必要となったため、限度額を変更するものです。

## 下田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例の制定

子ども子育て支援法の改正に伴い、生後6か月から満3歳未満までの保育所等に通っていない子どもを育てている家庭が、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、時間単位等で柔軟に利用できる「子ども誰でも通園制度」（乳児等通園支援事業）が創設されました。

児童福祉法において、市町村は、乳児等通園支援事業の設備及び運営についての基準を条例で定めなければならないとされていることから本条例を制定したものです。

下田市においては、令和8年度からの「子ども誰でも通園制度」の事業実施に向け、準備を進めます。

利用可能時間：子ども一人あたり「月10時間」を上限  
利用料：1時間あたり300円程度（予定）

## 下田市ふるさと応援寄附条例及び下田市ふるさと応援基金条例の一部改正

現在の下田市のふるさと応援寄附条例においては、いただいた寄附金を「下田市ほのぼの福祉基金」他8基金の事業に応じ、管理、運用してきましたが、令和7年度からは、「下田市ふるさと応援基金」に一元化し管理、運用するものです。

寄附金の運用については、寄附者の意向に沿った運用を行うため、事業別に管理するとともに、「下田市ふるさと応援基金運用委員会」を設置し適切な運用を図るものです。

## 令和7年度下田市一般会計予算

### 新庁舎等建設促進事業 14億5,579万9千円

令和7年度の内容は、下記のとおりです。

新庁舎建設工事監理業務委託（債務）	2,800万円	令和6年度から令和7年度にかけて総額400万円で実施する工事監理業務の令和7年度分
新庁舎整備工事（債務）	12億6,000万円	令和6年度から令和7年度にかけて総額18億円で実施する整備工事の令和7年度分
新庁舎整備工事（外構）（新規）	7,700万円	令和7年度から令和8年度にかけて総額1億3,000万円で実施する外構整備工事の令和7年度分
備品購入費（庁用備品）	8,800万円	新築棟・体育館棟で使用する机、椅子、キャビネット、ロッカー、カウンター等の購入費



【整備が進む新庁舎体育館棟内部】

※工事（監理を含む。）の財源については、緊急防災・減災事業債（充当率100%、交付税措置率70%）を充当し、備品購入の財源については、庁舎建設基金を充当します。

### 防災対策総務事務 防災車両購入 1,000万円

避難所の生活環境整備の一環として自走式小型トイレカーを購入します。

### 防災施設等整備工事 2,600万円

災害時に避難所となる下田中学校にマンホールトイレを設置するもので、浜崎小学校、白浜小学校に次いで3箇所目となります。

### 防災組織育成事業 災害時協力井戸整備補助金 100万円

昨年度調査を実施した災害時に協力いただける井戸の所有者に対して5万円を上限に井戸の修繕・整備費用を補助するものです。

### 物価高騰対応重点支援給付金 1億2,500万円

住民税均等割非課税世帯に3万円、18歳未満児童一人あたり2万円を加算して給付します。

### 消防施設等整備事業 第6分団統合詰所整備事業 3,746万7千円

津波浸水区域内に立地する第6分団第1部(吉佐美)及び老朽化した第6分団第2部(大賀茂)詰所を統合・再編し、吉佐美字三倉地内に地区防災センターを備えた新たな消防団詰所を整備します。

令和7年度は、実施設計等業務委託(357万円)、用地購入約800㎡(2,600万円)等の予算を計上し、整備工事は令和8年度に実施します。

### 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業 教育用端末購入 7,590万円 (小学校4,633万2千円、中学校2,956万8千円)

GIGAスクール構想に基づき、令和3年度から活用している1人1台端末の耐用年数が迫るため、GIGA第2期として端末更新を行います。

小学校、中学校及び予備機として1,130台、OSは第1期と同様にiPad OSを予定しています。

令和8年3月に納入、令和8年4月からの使用開始を想定しています。

※財源内訳

公立学校情報通信機器整備事業補助金	4,301万円
(1台あたり 上限5万5千円×2/3)	
学校施設整備基金	3,280万円
一般財源	9万円



イラスト：下田高校芸術部(美術)  
2年 萩原希海(はぎわらのぞみ)

## 令和7年度下田市公共用地取得特別会計予算

### 公共用地用地取得事業 公有財産購入費 1,600万円

伊豆縦貫自動車道(仮称)敷根IC付近整備に係る用地として、敷根公園に隣接した、山林3万1,090㎡を先行取得するものです。



産業厚生委員会所管の主な審査項目を紹介します。

産業厚生委員会

令和7年3月定例会の主な審査項目です。

## 下田市景観まちづくり基金条例の一部改正

下田市景観まちづくり基金は、下田登録まち遺産や歴史的風致形成建造物の建物修繕や、維持管理、身近な景観まちづくり協定要領に規定する団体の活動費に対する助成の財源とし、民間の所有者や団体に対する支援に限られていましたが、市が事業主体となる、景観推進関連事業にも充て、より有効な景観形成を進めることを目的に改正するものです。

## 令和7年度下田市一般会計予算

### 介護保険施設等対策事業・保健衛生総務事務・物価高騰対応重点支援給付金事業

介護施設等物価高騰対策支援金	1,006万2千円	エネルギー価格や食品価格等の物価高騰に伴い、大きな影響を受けている市内の介護施設や医療機関等への物価高騰対策として、物価高騰対策支援金を交付し、経済的負担の軽減、質の高いサービス等の継続を図ります。
医療機関等物価高騰対策支援金	817万8千円	
障害福祉施設等物価高騰対策支援金	250万5千円	

※障害福祉施設等物価高騰対策支援金は、総務文教委員会所管

### 保健衛生総務事務 順天堂大学医学部付属静岡病院バス利用者助成金 70万円

三次救急を担う順天堂静岡病院への通院を目的として、下田市内を起点とした路線バスを利用し移動する市民の経済的負担の軽減を図るため、市民に路線バスの助成券を配布することにより通院支援を促進します。

### 予防接種事業 带状疱疹予防接種業務委託 444万円

65歳以上の方などを対象に带状疱疹ワクチンの定期接種を実施するものです。

### 水産振興事業 水産業基幹施設整備事業補助金 632万5千円

伊豆漁協が行う下田魚市場建て替え事業の基本設計に対し補助をするものです。

### 田牛漁港海岸保全施設整備事業 田牛漁港海岸保全施設整備工事 1億円

田牛漁港海岸の護岸整備工事延長60mを予定するものです。

### 商工業振興事業 プレミアム付商品券発行事業補助金 2,800万円

市内店舗を支援するための消費喚起策として商工会議所が実施するプレミアム付商品券発行事業に対する補助金です。

### 世界一の海づくり事業 ユニバーサルビーチ運営業務委託 150万円

「ユニバーサルビーチ」とは、身体に障害のある方やお年寄りであっても、自由に、安全に、そして快適に活動できるビーチのこと。下田市の観光資源である海水浴場の魅力化や多文化共生を目指すため、ユニバーサルビーチの取り組みを支援するものです。

### 公共交通推進事業

コミュニティバス運行业務委託	907万5千円	稲梓循環線いなみん号の運行を委託するものです。
下田市自主運行バス事業補助金	500万5千円	田牛線の運行に関わる東海バスへの補助金です。
下田市継続困難バス補助金	255万円	大賀茂線及び須崎線の運行に係る東海バスへの補助金です。
バス路線維持助成補助金	228万8千円	静岡県過疎バス事業として、大沢口線の運行に対する、東海バスへの補助金です。
自主運行バス利便性向上実証実験業務委託	550万円	「ふじのくにフロンティア地域循環共生圏形成事業」を活用し、AIオンデマンドを取り入れたコミュニティバス（いなみん号）運行の実証実験を行うものです。

### 道路維持事業

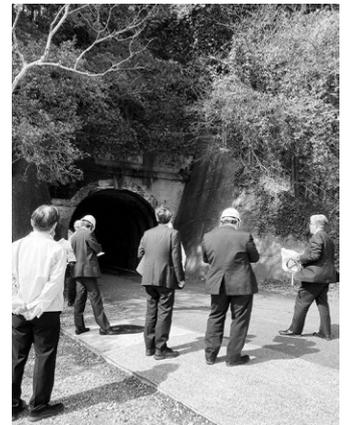
市道鶴島大浦線法面補修工事	3,000万円	法面からの落石の防止のため落石防護柵工・落石防護柵金網張替工等を行うものです。
鍋田隧道大規模修繕工事	8,500万円	トンネルの長寿命化のための修繕工事を行うものです。

### 橋梁維持事業 9,600万円

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、吾妻橋の測量設計、志戸橋及び中村橋の大規模修繕工事を実施するものです。

### 伊豆縦貫道建設促進事業 箕作広場整備工事 7,480万円

都市再生整備事業を活用し、伊豆縦貫自動車道建設発生土を利用した地域の多目的広場を整備するものです。



【大規模修繕が予定される鍋田隧道】

## 請願第1号 下田市に高校生通学費補助を求める請願書

本請願は、高校に通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減することで、教育の機会均等を図るとともに、定住の維持及び公共交通の利用促進を図ることを求めるために、下田市に高校生通学費補助を求める会より、4,153名の署名を添えて提出されたものです。



### ■総務文教委員会では・・・

総務文教委員会審査においては、請願者代表等3名の方からご意見をお聞きしました。

請願者からの意見としては、物価の高騰等により通学費が家計の大きな負担になっているとの多くの保護者の皆さんからの声が上がっている状況や通学費のことを考慮すると、子ども達が部活動やスポーツ等やりたいことをやれない状況や、近隣市町の中で下田市にだけ補助制度がないこと、教育の機会と親の経済的な面を含めて、家族ごと引っ越してしまうような流れを食い止めたい、各家庭への補助により、子どもへの下田での教育の拡充が図れるのではないかと意見をいただきました。

また、3人の紹介議員からは、これまで、一般質問や会派要望において、高校生通学費補助に関する予算を要望してきた経緯の中で、今回の市民の方から求められている請願は、「下田市だけでなく賀茂地域全体にとっても重要な内容と考える。」「子どもを育てる保護者の方々からの経済的負担により子どもたちに学びの制限が生じてしまう。」「公共交通の維持、存続も含め、地域社会のあり方、子どもを地域で育てていくということ、全体の中の一つのポイントとしての高校生の通学補助があるのではないか。」との意見をいただきました。

紹介議員からは、請願者のみなさんと協議の上、市内中学校卒業生の進路状況や東海バス、伊豆急行の定期代に基づき、補助制度の案を作成いただきました。これによると、市の年間の負担額は、保護者の皆さんの自己負担の額や補助率により、約1,550万円から約130万円というもので、請願者としては、補助額は多ければそれに越したことはないが、あくまでも制度の創設を求めるものとの説明がありました。

一方、当局側からは、子育て支援、就学支援、公共交通、財源確保、過疎地域持続的発展計画、定住促進等の観点から、福祉事務所・学校教育課・建設課・財務課・企画課に出席いただき、質疑を行いました。

採決の際、本請願について、財政状況や実現可能性の面では確信が持てず、当分の間は願意を実現することが難しい現状ではあるが、願意については十分に理解できるものとして、「採択」、「不採択」に加え、「趣旨採択」を加えた3つの表決方法によることを提案する動議があり、採決の結果、市の厳しい財政状況の中で、子ども子育て施策の優先順位を考慮すべきなどとした賛成多数により、総務文教委員会では「趣旨採択」と決定しました。

### ■本会議では・・・

3月21日の最終本会議では、総務文教委員長長の報告の後、本請願に関する採決が行われましたが、本会議においても、賛成多数により「趣旨採択」とすることが決定しました。

本会議での主な意見は10ページをご参照ください。



### 「趣旨採択」、「一部採択」とは・・・

請願に対する議会の意思決定は、基本的には「採択」か「不採択」の2種類ですが、議会として、請願の願意は理解するものの、市の財政事情等から当分の間は願意を実現することが困難な場合等に、便宜的に「趣旨には賛同である」、「一部には賛同である」という意味で「趣旨採択」や「一部採択」とすることがあります。

## 市政を問う一般質問

※議長(中村敦議員)及び監査委員(渡邊照志議員)は、慣例により一般質問を行っていません。

### 土屋 仁議員



1. 伊豆縦貫自動車道河津下田道路の整備促進について
2. 避難場所としての学校体育館への空調設備整備について
3. 不登校児童・生徒の現状と課題、支援の取り組みについて



【動画】

1. 伊豆縦貫自動車道河津下田道路の整備促進について

河津下田道路の早期開通に向けた予算確保のために重要となる建設発生土の受け入れ場所の確保について、現在市内で予定されている、須原地区、箕作地区、敷根地区それぞれの箇所の進捗状況、今後のスケジュールについて質問しました。

また、今年度策定する、(仮称)下田北IC周辺まちづくり基本計画についても、市民への情報提供を求めました。

2. 避難場所としての学校体育館への空調設備整備について

体育館への空調設備の整備を進めることは、喫緊の課題であり、国が避難所となる公立の小中学校等の屋内運

動場を対象に、「空調設備整備臨時特例交付金」を創設し、令和17年度には現在の空調設置率18.9%を95%にする事としたことから、この期間内に特例交付金を活用し、体育館の空調設備を整備するよう求めました。

3. 不登校児童・生徒の現状と課題、支援の取り組みについて

文部科学省の調査によれば、小中学校における不登校児童・生徒数が過去最多の約34万6千人となったことから、市内の不登校児童・生徒の現状と支援の取り組み、保護者に対する支援体制について質問しました。

また、静岡県が令和7年度から本格運用を開始する「しずおかバーチャルスクール」について、試行運用期間の市内の参加状況及び本格運用となった際の保護者の皆さんに対する情報提供、周知等の取り組みについて質問しました。

### 天野美香議員



1. 避難所・体育館の空調設備について
2. 産婦人科との連携と今後の周産期・地域医療について



【動画】

1. 避難所・体育館の空調設備について

空調設備設置は子供たちから寄せられた声であり、昨年9月一般質問をさせていただきました。避難所のあり方は今後の重要な課題であることから、災害時の避難所となる下田中学校体育館へ経済産業省所管のLPガス災害バルク等の空調設備設置について質問しました。

2. 産婦人科との連携と今後の周産期・地域医療について  
①救急搬送時の妊婦・胎児への対応としての体制づくりについて

5市町と下田消防本部で、妊婦を救急車で医療機関まで搬送する「妊婦サポート119」が開始となるが、より安心・安全に搬送するために遠隔分娩監視システムの

導入の考えがあるか質問しました。

②下田市として産婦人科との連携と、先を見据えた周産期・地域医療の構築と今後への考えについて

今後、下田市・賀茂地区において産婦人科の対応がゼロにならないためにも今の医療体制を整え、臼井先生との連携を図り繋げていくことが重要であり賀茂地域医療協議会・県との連携を強化する方向性にあるか質問し、分娩ができなくなった現状ではあるが、産科医が居てくださることを認識していただき、今後も臼井先生に産科領域のできるだけ幅の広い医療を継続していただくために、遠隔診療体制のサポートを市として行うお考えがあるかについて質問しました。また、市民の暮らしを支える地域医療の構築・未来をつなぐ周産期医療・今後に向けてメディカルセンターとの協議をされていかれるかについて質問しました。

### 浜岡 孝議員



1. シニアも活躍する明るく楽しく前向きなまちづくりについて
2. 広域ごみ処理事業の見直しについて



【動画】

1. シニアも活躍する明るく楽しく前向きなまちづくりについて

①介護スタッフの不足を補うため「介護職員初任者研修」講座を下田で開設する

②健康増進のため、将棋、囲碁、健康麻雀などの、頭や指先を使うレクリエーションでシニアが集える居場所を街中に創設する

③シニアの移動手段を確保するため公共ライドシェアを整備する

④ボランティアポイント制度を創設し、笑顔づくりの原動力に

⑤社会福祉協議会/シルバー人材センターのパワーアップを図る

2. 広域ごみ処理事業の見直しについて

南伊豆地域広域ごみ処理事業について、事業をゼロベースで見直し、処理能力に余裕のある東伊豆町と河津町で運営するエコクリーンセンター東河にゴミ処理をお願いするのが最良の対応だと考える。現在の計画では、新しい焼却炉の建設費と運営費をあわせて305億円が必要となり、財政が厳しくなるのは明らか。この際、将来世代に過剰な負担を残さないよう、新炉の建設を取りやめる軌道修正を図るべき。

## 沢登英信議員



1. 物価高騰から暮らしを守る緊急対策について
2. 南伊豆地域広域ごみ処理計画の見直しを求める
3. 白砂保全とウミガメ保護条例の制定について



【動画】

1. 物価高騰から暮らしを守る緊急対策について

年収200万円世帯で、所得税は1万2千円程度、消費税は12万6千円もの負担になります。税の累進性がなくなり、所得の再分配機能、高い所得の人が低い所得の人を助けるという社会構造が否定され、低所得者ほど税負担率が重い社会構造となっています。米や野菜は2倍、3倍となっています。主食用米の需要量年間705万トンに対し収穫量は661万トンで44万トンも足りません。政府が備蓄米を21万トン出しても23万トンも足りません。稲作農家がこの25年間で121万人減の53万人

に激減しました。農水省の統計調査で2023年の水田稲作経営の農業所得は年収9.7万円と時給換算で約100円だったと言っています。「軍事費突出、大企業バラマキ」の国政のもとで、市民の暮らしを守るための物価高騰緊急対策が必要です。

- ①食料品やエネルギー価格の安定対策
- ②商店や中小企業の支援対策
- ③所得の実質的引上げ・低所得者への支援金の支給
- ④農家等への原材料・燃料費・飼料・肥料等への補助
- ⑤学校給食の無償化・小中高通学費補助
- ⑥医療費・介護費・国保税の据え置き又は引き下げ
- ⑦上下水道料等公共料金の据え置き、他

## 岡崎大五議員



1. 下田魚市場の建て替えと「みなとまちゾーン活性化計画」について
2. 带状疱疹の予防ワクチン接種補助について
3. (仮称)下田北インターチェンジと伊豆縦貫自動車道の進捗状況について



【動画】

①下田魚市場の建て替えと「みなとまちゾーン活性化計画」について

令和7年度から始まる下田魚市場の建て替えの、セリ場は水産庁の浜の活力再生事業があげられますが、「みなとまちゾーン活性化計画」の中で、魚市場だけでなくセリ場の見学設備や飲食店等複合施設として、建て替えるべきだと要望し、他の補助金制度の活用をたずねました。また、有料の「海釣りGO」登録のための条例改正、隣接する道の駅の商業化を促す条例改正、4月に実施予定のタラオセアンジャパンによる磯焼け調査とイベ

ントの協力体制も質問しました。

- ②带状疱疹の予防ワクチン接種補助について  
带状疱疹ワクチンが定期接種B類に分類されたことによる、下田市での実施要件や補助金額を質問しました。
- ③(仮称)下田北インターチェンジと伊豆縦貫自動車道の進捗状況について  
(仮称)下田北インターチェンジ周辺に建設が見込まれている道の駅について、進捗状況をたずねると同時に、処理土の活用場所の確認、公衆トイレがない稲梓地区に早期の公衆トイレ設置を要望しました。

## 鈴木孝議員



1. 下田保育所の津波避難計画と認定こども園との統合の見直し、休日保育の実施について
2. 学校図書室の現状と課題について



【動画】

1. 下田保育所の津波避難計画と休日保育について

下田保育所は、東南海地震による津波浸水域に立地していることから、子供達が安全に避難することに難しさを感じます。

現在の計画では、近隣で勤務する教育委員会の職員も避難を援助することになっていますが、市役所の新庁舎が建設される事により教育委員会の新庁舎移転も計画されていることも考慮すると新たな避難計画が必要となります。

現在、少子化により通園する子どもが少なくなっていることから下田保育所を廃止して認定こども園に統合することで津波災害から子どもを守る事が出来るのでは

ないかと思っています。

今後の下田保育所の避難計画はどのようになっているのか、下田保育所と認定こども園の統合の計画を含めて伺いました。

また下田市は観光関連産業が主な産業であることから日曜、祭日に子どもを預かる休日保育の実施が必要であると感じます。

今後休日保育を実施する計画があるのかを伺いました。

2. 学校図書室の現状と課題について

文部科学省では、令和4年度から8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5ヵ年計画」を策定し公立小中学校等の学校図書館の整備充実を進めています。この計画を受けて下田市の学校図書館の現状はどのようになっているのか課題を含めて伺いました。

柏谷 祐也 議員



1. 妊婦の支援拡充について  
2. 避難所と避難者について



【動画】

1. 妊婦の支援拡充について

妊婦の救急搬送要請理由は、出産・陣痛・破水時などの属性で、適正であるか否かを判断できないと考えます。本人や周囲が緊急であると判断して要請するため、妊婦情報事前登録制度の運用体制や先進地の計画搬送の運用事例等、今後の救急体制の運用について、引き続き消防組合へ協議していくべきではないかと問いました。

2. 避難所と避難者について

避難所の運営は、地域の方々の協力が欠かせません。大規模災害時には、突然集まった人々が、自分自身も被災した厳しい状況で、避難所を運営するのは困難です。避難所運営における課題や改善の方法は、過去の大規模災害の教訓を学び、備える必要があります。平時から要配慮者の地域支援体制の強化や避難所運営マニュアルの整備、避難所の開設・運営訓練を行うなど、いざという時に動ける人づくり、組織づくりに日頃から取り組むことで、災害時の行動範囲と視野が広がり、円滑な避難所運営ができるのではないかと問いました。

江田 邦明 議員



1. 国土強靱化地域計画と伊豆半島広域防災について  
2. まちづくりにおける敷根公園の位置づけについて



【動画】

1. 地区防災計画及び観光危機管理計画、伊豆半島広域防災協議会に関する内容について、自助・共助による住民主体の防災の仕組み、公助による伊豆半島広域防災の仕組み、観光立市に必要な観光と防災の仕組みの視点で問いました。また、宮城県各市町への行政視察等を通じて感じた、復興方針や復興計画を議会の

議決事項とすることや、南海トラフ巨大地震に対する下田市の脆弱性について問いました。  
2. 新たに下田市SURFCITY構想や下田市スポーツ推進計画が策定され、生涯を通じたスポーツへの参加やスポーツの力を活かしたまちづくりを推進していくため、敷根公園及び屋内温水プールを今後どのように維持管理し、整備していくかについて問いました。

議決事項とすることや、南海トラフ巨大地震に対する下田市の脆弱性について問いました。

下田市	全半壊・焼失市民避難者	観光客避難者	災害廃棄物	死者
想定数	12,213人 (5,110棟)	18,500人 (うち日帰11,500人)	475,800㎡ (658,000 t)	5,120人
確保済	避難所3,935人 避難所外4,373人	宿泊7,000人 帰宅支援等の対応	仮置場候補地51,300㎡	遺体安置施設90人
充足率	50.2%	不集計	10.8%	1.8%

《賛否の分かれた議案》

(○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席)

番号	3月定例会議案件名	柏谷	大西	浜岡	土屋	天野	岡崎	楠山	中村	渡邊	鈴木	沢登	江田	審議結果
議第13号	令和6年度(債務負担)下田市新庁舎整備工事(建築)請負契約の締結についての一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
<p>※議案の概要 新築棟の杭工事による発生土処分の変更、体育館棟の杭工事の施工費の変更、さらに外構工事の変更に伴い、契約額を11億5,500万円から11億6,700万1千円に1,200万1千円増額する請負契約の変更</p> <p>主な意見</p> <p>反対 体育館棟の施工方法については、設計段階で既に検討されている事項であり、施工後の事情で増額、変更を認めていくと際限がなくなる。設計や契約の原則からも疑問が残るため、この契約変更は認めるべきではない。</p> <p>賛成 今回の施工方法の変更は設計段階で予見できなかったものであり、これを認めないことは施工業者の損害にもつながることが想定され、今回の契約変更はやむを得ない。</p>														
議第25号	下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	×	原案可決
<p>※議案の概要 非常勤特別職に「都市計画アドバイザー」を設置するもの</p> <p>主な意見</p> <p>反対 これまで特定任期付職員が実施してきた業務を都市計画アドバイザーが引き継ぐのであれば、その業務については、地方公務員法に定める服務等を課すべき者に従事させるべき。</p> <p>賛成 専門的な知識や経験を持つ職員が、令和7年度以降従来どおりの勤務が困難となることから、現行の職員体制では、都市計画業務に当該職員のような識見を持つ人材がおらず、業務内容に支障をきたすことが考えられることからやむを得ない。</p>														

番 号	3月定例会議案件名	柏谷	大西	浜岡	土屋	天野	岡崎	楠山	中村	渡邊	鈴木	沢登	江田	審議結果
議第 26 号	下田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	/	○	○	×	×	原案可決
<p>※議案の概要 令和6年人事院勧告に基づき、地域手当や通勤手当等諸手当の見直しを図るもの</p> <p>主な意見</p> <p>反対 人事院勧告の示す地域手当は、国家公務員が転勤等で民間の給与の比較的高い地域に勤務する場合に支給されるものであり、これを下田市へ適用することは疑問。通勤手当についても、国家公務員の広域的な人事異動の円滑化を図る観点が大いものと認められることから、下田市がこれらに準拠する必要はなく、地域の実情に応じて適切に対処すべき。</p> <p>賛成 二拠点居住推進政策が今後重要なプロジェクトになることが想定される中、広域的な枠組みの中で人が動き、生活できるような仕組みを下田市でも取り入れるべきであり、また職員組合とも合意しているものでありやむを得ない。</p>														
議第 27 号	下田市景観まちづくり基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
<p>※議案の概要 民間所有者等に対する景観まちづくり助成金に加え、市が実施する景観まちづくり促進のための事業に基金を充当できるよう改正するもの</p> <p>主な意見</p> <p>反対 これまで民間によるまち遺産の改修等のために使われてきた基金を、市が景観まちづくり促進のために使えるという形に改正すると、やがては市が何にでも使える基金という形になる懸念があるため条例改正は不要。</p> <p>賛成 一般財源も厳しい中、これまでどおり民間への補助は優先的に行いながら、景観まちづくりを行っていくには市の事業も進めていかなければならず、基金の有効活用という意味からも改正はやむを得ない。</p>														
議第 30 号	下田市景観まちづくり条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
<p>※議案の概要 より適正に景観形成を促すため、景観計画の改訂に合わせ、「景観誘導ゾーン」の廃止、住民の合意形成が得られた場合に「景観重点地区」の指定ができるようにするなどの改正を行うもの</p> <p>主な意見</p> <p>反対 ゾーン分けを廃止し重点地区だけ残すことは、実体として市民参加が難しくなる条例という形になる懸念があるため、今ある条例をより一層使い勝手のいい形で整備をしていくべき。</p> <p>賛成 例えば海岸ゾーンに関しても、それぞれの海岸や地区によって景観も違いうし、その景観のバックヤードにある文化も違うという中で、それらを個性として表現することが景観として重要。また重点地区の指定についても、住民の意思が反映されるものであり、反対者の指摘には当たらない。</p>														
議第 34 号	令和7年度下田市一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	/	○	○	×	○	原案可決
<p>主な意見</p> <p>反対 南伊豆地域清掃施設組合で行う都市計画決定支援業務等に係る負担金は執行すべきでなく、また夏期対策事業における特殊警備業者への業務委託は効果が薄い。さらにあずさ山の家は、十分な活用がされないまま年間約200万円の維持管理経費を支出することは現行の条例に反する。大浦のワーケーション施設も十分に活用されているとは思えず、契約の見直しも必要。</p> <p>賛成 一部事務組合での議決に基づく負担金は義務的経費。夏期対策事業での特殊警備は、健全化に向け一定の効果を上げている。あずさ山の家も有効活用に向けても担当課は条例改正も視野に様々な方策を検討している。ワーケーション施設の有効活用に関しても契約条項の見直しも含め担当課で検討しているところであり、当初予算を否定するところはない。</p>														
議第 37 号	令和7年度下田市公共用地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	原案可決
<p>主な意見</p> <p>反対 災害時の避難用として、県道下田南伊豆線拡幅のために土地を先行取得しておくことが必要と思われるが、そうした対応はせず、伊豆縦貫自動車道の発生土処分地の取得だけを下田市が行うことは、公共用地取得の目的から見て不十分。</p> <p>賛成 伊豆縦貫自動車道建設にあたり、国の用地買収と合わせ、すでに策定された緑の基本計画等に基づき、下田市が用地を取得し、復興期の災害発生時の避難地、また復興期の仮設住宅等の建設用地候補地として取得するものであり、用地取得にかかる経費も、あらかじめ不動産鑑定をした中で設定されたものであり適正。</p>														
請願第 1 号	下田市に高校生通学費補助を求める請願書	○	○	○					/	○	○			趣旨採択
<p>※請願の内容は、6ページ参照</p> <p>主な意見</p> <p>採択に賛成 本請願に係る事業費については、年間予算が毎年100億円を超える規模の下田市にとっては決して不可能なものではなく、4,153筆の市民の声を市政に届けるためにも、また、過疎地域である下田市においては、本市に人が多く住み、子どもを育てていくための政策も必要であり、過疎対策としても制度設計を急ぐべきであり、本請願は採択すべき。</p> <p>趣旨採択に賛成 活動署名された市民の思いは理解するものの、現在の下田市の財政状況の中、教育整備や子育て支援における優先順位を考慮すると、すぐの実現は困難と思われる。また、通学費補助を行うにあたっては、県教育委員会や市内勤務の高校教諭、さらには市内中学校の進路指導部の方々とも連携して進めていく必要があり、通学費補助制度の策定に向けては慎重に考える必要があるため、趣旨採択とすべき。</p>														

※議長(中村敦議員)は、可否同数時の裁決以外は採決に加わりません。



# 令和7年1月臨時会・3月定例会 審議結果

## 1月臨時会

議第1号	静岡県市町総合事務組合の規約の一部を変更する規約について	原案可決
議第2号	下田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第3号	下田市特別職の常勤職員給与支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第4号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第5号	下田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第6～11号	令和6年度下田市一般会計補正予算(第10号)【他5会計補正予算】	原案可決

## 3月定例会

議第12号	下田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第13号	令和6年度(債務負担)下田市新庁舎整備工事(建築)請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第14号	令和6年度(債務負担)下田市新庁舎整備工事(機械設備)請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第15～20号	令和6年度下田市一般会計補正予算(第11号)【他5会計補正予算】	原案可決
議第21号	下田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議第22号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議第23号	下田市ふるさと応援寄附条例及び下田市ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第24号	下田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び下田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第25号	下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第26号	下田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第27号	下田市景観まちづくり基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第28号	下田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び下田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第29号	下田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第30号	下田市景観まちづくり条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第31号	下田市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第32号	下田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第33号	下田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第34～43号	令和7年度下田市一般会計予算【他9会計当初予算】	原案可決
請願第1号	下田市に高校生通学費補助を求める請願書	趣旨採択
発議第1号	下田市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
発議第2号	公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書の提出について	原案可決
発議第3号	下田市議会議場に国旗及び市旗を掲揚する決議	原案可決

発行 下田市議会  
編集 広報委員会  
住所 下田市河内10-1

TEL 0558-2220  
FAX 0558-2721007  
E-mail: gkajimu@city.shimoda.lg.jp

広報委員会  
委員長 鈴木孝  
副委員長 土屋仁  
委員 天野美香 岡崎大五 江田邦明

議会HP



## 表紙の情報

表紙絵 下田高校芸術部(美術)1年 <sup>はやかわ ゆま</sup>早川友菜  
表紙題字 下田高校芸術部(書道)3年 <sup>さのかん</sup>佐野華恋

みなさんは、雨が好きですか？私は雨が好きです。この絵は雨上がりの静けさや、動植物の生き生きとした様子を表現し、ファンタジックな世界を描きました。この絵を見た人に少しでも雨の美しさを感じてもらえれば嬉しいです。【早川友菜】

## 編集後記

近年あじさい祭では、海外からのお客様が目立っています。なんでも日本以外のアジア諸国では、下田のようにきれいに咲かないのだとか。しかも山一面に広がるあじさいの群生はダイナミックと大人気で、盛んにSNSで世界に向けて発信されています。今年は6月21、22日の両日、大横町商店街にて『大横町あじさい祭』が開催されます。市民の皆様もぜひ下田公園やまちなかに足を延ばしてみませんか。(岡)

下田市議会の活動に役立てるため、市民の皆様の声を電話・メール・FAXで右記(欄外記載の連絡先)までお寄せください。



- この広報誌は、ユニバーサルデザインをコンセプトに開発された可読性・視認性・判別性に優れたUDフォントを使用しています。
- この広報誌は、再生紙を使用しています。